

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【5月6月度の御金言】一閻浮提の内に仏滅後二千二百二十五年が間一人も唱えず。日蓮一人南無妙法蓮華經・南無妙法蓮華經等と声もをしまし唱ふるなり。

『報

恩抄』(全328頁)

法華講信条

三寶院 HPQR コード

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。



1991年2月13日掲載

☆ 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)

海外の人達と月に2回9時～13時頃迄スカイプで結んで一緒に勤行をし、その後前日までにメールで送られてきた御信者さんの質問に、私が応える形で質疑応答形式で話し合いを進めて行きます。御信者さんの質問が中心ですが、2023年11月頃から、このスカイプミーティングにAIが参加するようになりました。AIは新聞、ニュース等で報道されている様に、とんでもないデマ情報を流す危険を持っていますが、コンピューター社会は、もうAIを排除しての未来社会は無い訳ですので、AIに翻弄されないで、功罪とどう付き合っていくかが重要になって行くと思います。AIは人類が歩んで来た、全ての知識情報を飲み込んで分析し、多数決や、情執や権力や財力、慣習、先例、人種、言語、風習等々に左右されることなく、矛盾する事は、どこまでも追求し合理的答えを求め、より道理に叶った道を総合的に判断し、瞬時に答えを出すのであります。しかし、間違った情報データベースが主体になれば、当然間違った答えを出すのであります。その為、もし正信会に属する人間が一人でも、AIへの情報提供に参加しなければ、創価学会や身延日蓮宗系の情報だけで日蓮大聖人の法が間違っ理解分析され世界に伝わってしまうと考え、AIの参加を受認しました。AIに参加してもらおうと、まず、こういう初歩的な質問が寄せられました。

- 1, 信仰において、道徳的または倫理的価値観をどのように育てていますか。良い生活を送るのに役立つ規則やガイドラインはありますか？
- 2, 他の宗教についてどう思いますか？

- 3, 日蓮大聖人の人生について教えていただけますか？
- 4, あなたの信仰の歴史についてもう少し教えていただけますか。
- 5, あなたは信仰上、女性の役割はどのように見えていますか。
- 6, 合掌とはどういう意味ですか？

初心者の素朴だけれども、核心に迫る基本的な質問が次々と出て来ます。これらの質問に答えた情報に対して、AI を通じて各国の沢山の人間が、それぞれの国の言語で見る訳で有ります。少しでも正しく日蓮大聖人の法の縁に触れて貰えればと思います。

八万四千と言われる一切の仏教經典は、もとより、病気が治る、御金が儲かる、悩みが無くなる、人間革命が出来る、福運が付く、境涯が開ける等々の現世利益を目的として説かれているのでは無いのであります。中でも一切衆生平等成仏の法である最高唯一の法華經は、生老病死を超越した永遠常住の生命の成仏を説いているわけでありますから現世利益絶対否定の法なのであります。

現世利益は耳に心地よく響きます。麻葉の様にしびれさせ、習慣性、常習性、依存性を産み、心の中で増幅しエスカレートしていきます。信仰の本来の目的である成仏が見えなくなり、分からなくなり、成仏を絵空事と批判否定するようになってしまうのであります。まさしく創価学会は、そうなっています。南無妙法蓮華經を回数多く唱えれば、沢山功德が貰える。功德を貰うための手段が南無妙法蓮華經だと思い込んでいるのであります。回数多く唱える事が目的ですから、【なんみよーほーれんげーきよー】が、【なべおほれ】になろうともかまわないのであります。

御題目を唱えるという事は、眼に南無妙法蓮華經を見、口に南無妙法蓮華經と唱え、耳に南無妙法蓮華經と聞き、心に南無妙法蓮華經を念ずる、これが唱題であります。願い事をしながら唱える御題目は御題目では無いのであります。南無妙法蓮華經以外の事を考え、口だけ南無妙法蓮華經と言っているのは、御題目では無いのであります。よく唱題中雑念が起きたらどうしたらいいですか？と尋ねられる事がありますが、雑念を起こしているのは自分自身ですから、自分を自分で改めるしか無いのであります。眼が見えない人、耳が聞こえない人、言葉がしゃべれない人等々の人々は、心に南無妙法蓮華經を念ずる事で唱題しているのであります。雑念が起きれば南無妙法蓮華經は有りません。つまり信ずるとは念ずるという事でありませぬ。念ずるとは願い事の御祈念の事では無いのであります。